

ねんきん最前線

市区町村 VOICE

岩手県久慈市 市民課国保年金係

ウインドマシンを使った国民年金保険料の納付状況等の確認を 納付勧奨や免除申請に役立て、納付率の向上に貢献 さらに特別支援学校や病院と連携し制度周知・相談体制を強化

久慈市の国民年金業務は、本庁職員6人（年金担当係長1人、正担当職員2人、会計年度任用職員3人）と、市役所支所職員2人（正規担当職員1人、会計年度任用職員1人）で行っている（2023年2月1日現在）。2022年度には、「令和4年度市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰」を受けた。表彰の対象となった取組みは主に2つ。ひとつは、国民年金の資格取得に来庁された方に対して、ウインドマシンを使って国民年金の保険料納付状況や異動状況の確認を行い、納付勧奨や免除申請を案内することで納付率の向上に貢献したこと。もうひとつは、特別支援学校で生徒や保護者、教員に障害年金説明会を開催。制度の周知と将来の請求漏れを防止し、病院と連携を行い相談体制の強化を図ったことが評価された。こうした取組みや日頃の業務について、久慈市市民課の晴山博樹課長、市民課国保年金係の大久保景子係長・中野美智主任に話を聞いた。



「久慈市ってどんなところ？」

久慈市は、岩手県北東部に位置し、北上高地をバックに太平洋に面する風光明媚なところです。小袖海岸の沖合は世界三大漁場として知られウニやアワビなどの宝庫となっています。ここで活躍する「北限の海女」は、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」をきっかけに全国の注目を浴びるようになり、その高い技術は「久慈の海女漁の技術」として、2018年には久慈市の無形民俗文化財に指定されました。また、2020年には映画「星屑の町」が公開され、岩手県の美しい星空が話題になりました。さらに、黒川紀章の設計で音響重視型の久慈市文化会館(通称アンバーホール)は、文化活動の拠点として久慈市のシンボルとなっています。産業は、農業や漁業のほか、日本最大の鉱床を活用した琥珀の加工業も盛んで恐竜の化石も発見されています。企業誘致や移住支援にも力を入れています。



- 人 口 合計32,599人 (令和5年1月31日現在)
うち、20～59歳は13,897人、65歳以上は11,428人
- 国民年金第1号被保険者数 合計 3,391人 うち、任意加入被保険者29人
- 国民年金保険料免除者数 合計 1,732人 うち、法定免除570人、申請免除1,162人 (全額免除568人、一部免除161人、納付猶予142人、学生納付特例291人)
- 国民年金受給者数 老齢基礎年金 11,014人 (うち、基礎年金のみの人1,915人)
障害基礎年金 994人
遺族基礎年金 61人

* 令和4年3月31日現在

市民課全体で連携し、ウインドマシンを活用した納付勧奨や免除申請を案内が保険料納付率のアップにつながる

—この度、「令和4年度市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰」の受賞、おめでとうございます。どのような取組みが評価されたのでしょうか。

大久保係長 久慈市では、お客様が異動など住民基本台帳に関する手続きに市民課の窓口に来られたときは、国民年金と国民健康保険の係にも案内してもらっています。窓口には平均して1日約20名の方がいらっしゃいます。3月・4月が1年のなかで来庁される方が多い時期です。

窓口に来られた方に対しては、ウインドマシンで、国民年金保険料の納付状況や異動状況の確認を行います。そのうえで保険料納付の勧奨を行い、納付が難しい場合は免除申請の案内をします。ウインドマシンを活用することで、その場で情報提供しながら時を逃さず納付や免除申請の手続きを案内することができます。こうしたことが納付率の向上につながり、2022年度の納付率は80.3%となりました。

—納付率向上のために、窓口での対応以外に行っていることはありますか？

中野主任 国民健康保険の担当と連携して、国民健康保険から国民年金にも案内してもらい、保険料の納付促進を実施しています。

久慈市に異動してきた人にはウインドマシンでその方の適用や保険料納付状況を確認するようにしています。特に第3号被保険者から第1号被保険者の種別変更の手続き漏れには気を付けてチェックするようにしています。

また、月に2回発行される久慈市の広報誌には、年金の情報を掲載し制度の周知を行っています。20歳になったときの手続きについて、保険料の免除申請、前納制度についてなどです。

晴山課長 久慈市は東日本大震災、平成28年台風第10号そして令和元年台風第19号で大きな被害を受けました。それでも久慈市は、市民の努力と市役所の努力の両方がある、納付率の向上につながったと思います。ですから、国保年金係では広報活動には力を入れ、できるだけ市民の方に役立つ情報を提供することを心掛けています。

—ここ数年、若年者対策の効果があらわれ、若者の年金に対する意識がかなり改善されているようです。久慈市では若者の意識に変化は感じられますか？

晴山課長 行政がセーフティネットを設け若い人の支えとなり、若い人もそのありがたさを感じ取ることで意識が大分変わってきたと思います。特に災害のときは社会保険のありがたさを感じた人は多かったと思います。

特別支援学校や病院と連携して障害年金制度の周知活動と相談業務を行う

—大臣表彰の対象となった2つめの、障害年金制度の周知活動や相談業務についてはいかがですか？

大久保係長 久慈市には特別支援学校が1校あります。市の社会福祉課障がい福祉係の職員と共に、進路説明会に参加しています。その中で障害年金制度の説明会を実施しており、学生本人と保護者の方に参加いただいています。特別児童扶養手当を受けている保護者の方のなかには、何もしなくても、年齢に到達すれば特別児童扶養手当から障害年金に自動的に切り替わると誤解されている方もいます。ですから、制度の周知は重要な活動だと感じています。説明には市役所職員が当たります。

—そのほか、こういった活動をされていますか？

晴山課長 久慈市には、岩手県立久慈病院と北リアス病院という2つの大きな病院があります。この2つの病院とも連携し、障害年金にとって重要な事項となる初診日の確認を行っています。紹介状があるかも大切なポイントで、紹介状があれば本人にわからないことも確認できることもあります。

また、久慈地区の自立支援協議会を中核に、各施設の相談員や福祉事務所の保健師とも連携し、相談しやすい体制をつくっています。

中野主任 晴山課長と私はかつて福祉事務所に在任していた経歴があります。ですから、福祉の観点から障害年金をとらえることができ、福祉の分野とも連携を行いやすいメリットがあると思います。福祉事務所に籍を置いていた当初の相談員のなかには今もつながりがある人もいますし、情報を共有しやすいですね。

遠藤譲一市長の協力もあって年金事務所との関係は良好

—久慈を管轄する二戸年金事務所とはどのように連携していますか。

大久保係長 二戸年金事務所は車で1時間くらいの距離にありますから、頻繁に行き来することは困難です。ですから何かあればすぐに電話で相談に乗っていただいています。また、月に2回、久慈市文化会館（通称アンバーホール）で年金相談会を実施いただいております。市民の様々な相談や手続きに対応しています。

毎年5月に初任者研修で二戸年金事務所に市の新任職員が伺っています。その際にウインドマシンへの登録も行っています。

晴山課長 年金事務所からは職員の方が年に1回市役所に来庁し、市長に年金制度改正などについて説明していただいています。現任の遠藤市長は、元々岩手県の職員でしたので、こうした年金制度の周知活動については理解していただいております。二戸年金事務所と連携を図るうえでも大きな力となっています。二戸年金事務所の職員の方が遠藤市長を訪れた際の写真は日本年金機構の情報誌「かけはし」に掲載されました（下記写真）。



「令和4年度市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰」に際して(2022.11.7)。向かって左から、日本年金機構二戸年金事務所 田村昌司所長
久慈市 遠藤譲一市長



二戸年金事務所の職員が市役所を訪問(2022.11.7)。
遠藤市長と年金事務所の田村所長と職員の皆さん

未納を減らして市民を無年金から救うことが大切

——市民の方への対応で力を入れていることはありますか？

中野主任 未納の方をいかに減らせるかということが一番ですね。特に資力がなく保険料を納められないのに免除申請をしていない方には気を配っています。例えば国保の被保険者証をお送りするときに一緒に免除申請の案内の文書を同封したり、産前産後免除の届出をされていない方に案内の文書を送付したりしています。1人でも多くの人を無年金の事態になることから救いたいですね。他には、世帯状況の変更等により年金生活者支援給付金の受給が新たに見込まれる方に対し、給付金請求の案内の文書を送付しています。年金制度は複雑ですので、市民のサポートができるよう心掛けています。

晴山課長 新型コロナウイルス感染症は収まってきたとはいえ、その影響で生活に困窮している人はまだまだ多いのが現状です。年金のことだけでなく、何かの件で市役所に来られた方にも積極的に年金相談に応じたいと考えています。

現在、年金専門の相談員は1名で、特に専用のブースは設けていないのですが、相談に来られた方には丁寧な対応を心掛けています。

——本日はどうもありがとうございました。



左から、大久保景子国保年金係長、晴山博樹市民課長、中野美智国保年金係主任